

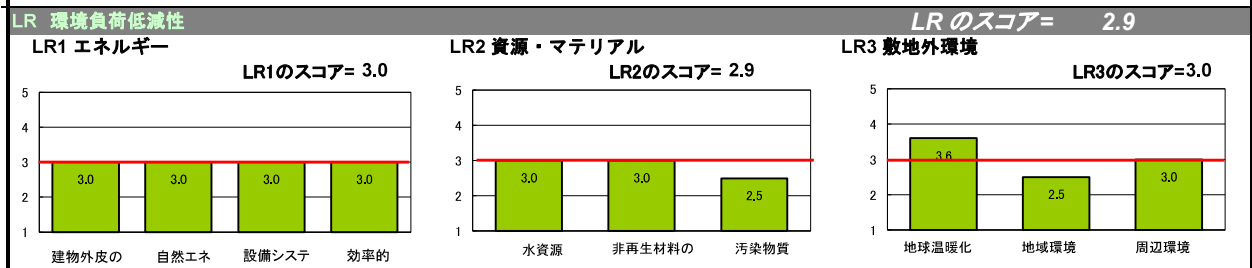
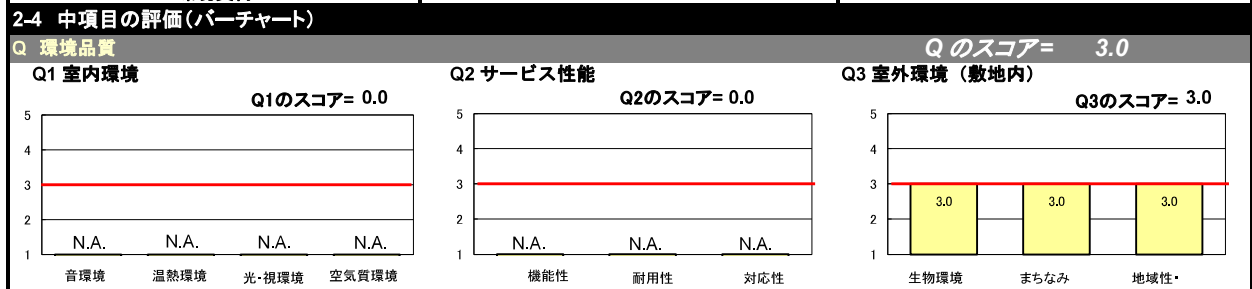
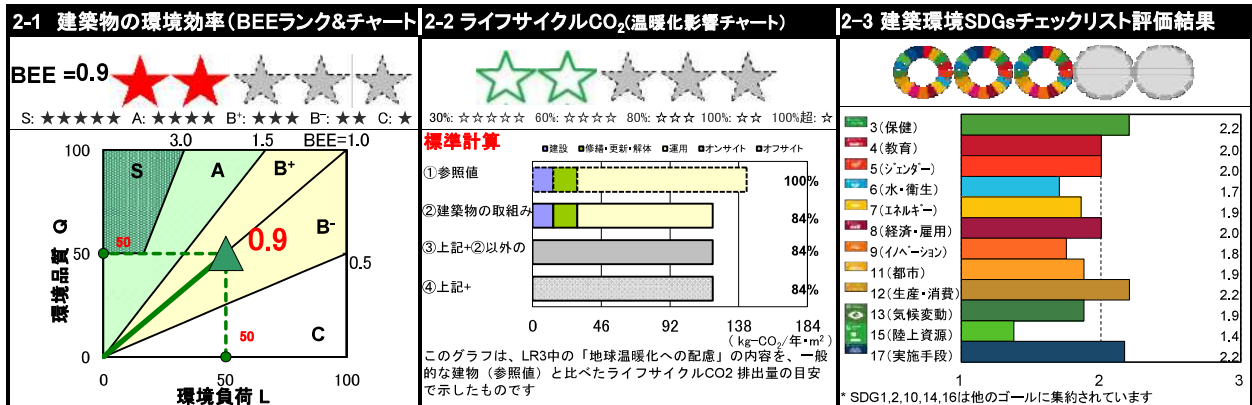
建築物名称	(仮称)MTFプロジェクト 富士工場 新築工事
受付日	令和5年11月14日
建物所在地	静岡県富士市大野新田332-1
構造規模等	鉄骨造／地上3階／延床面積7, 273. 18平方メートル／新築
建物用途区分	工場
建築主	興和株式会社 代表取締役社長 三輪芳弘
工事完了予定日	令和6年12月30日

CASBEE[®]-建築(新築) 2021年SDGs対応版 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)MTFプロジェクト富士工場新	階数	地上3F
建設地	静岡県富士市	構造	S造
用途地域	工業地域、工業専用地域、法22条	平均居住人員	0 人
地域区分	7地域	年間使用時間	4,160 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2023年11月9日
敷地面積	156,739 m ²	作成者	藤井 正男
建築面積	5,466 m ²	確認日	2023年11月9日
延床面積	7,273 m ²	確認者	藤井 正男

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 特に無し。	その他 特に無し。	
Q1 室内環境 開口部の遮音性能はT-2である。	Q2 サービス性能 評価対象室内においては執務者に十分な屋外の情報を得られるよう窓が設置されており、天井高さも2.7m以上である。	Q3 室外環境 (敷地内) 積極的に緑化を計画した。
LR1 エネルギー 高効率の導入で省エネ性能に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 特に無し。	LR3 敷地外環境 屋外広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要

建物名称	(仮称)MTFプロジェクト富士工場新築工事	BEE	0.6	BEEランク	B+	★★★
------	-----------------------	-----	-----	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0	/5	      ふつつ 
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5	      ふつつ 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	#DIV/0!	/5	      #DIV/0!
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7	/5	      がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上  がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目												
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点					3.0							
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①ダブルスキンの採用による開口部の温熱環境の向上。 ②ライトシェルフの採用。	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備	
												③	昼光制御	
									Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
												2.2.2	⑤	外壁仕上げ材の補修必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指数50%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するよう外構植栽計画を行った。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦ダブルスキンによる高断熱化。 ⑧自然通風、ライトシェルフによる自然エネルギーの利用。 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。 ⑩BEMSの導入によるエネルギー管理。	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制		2			⑧	自然エネルギー利用	
												⑨	設備システムの高効率化	
										4	4.1		⑩	モニタリング
											4.2		⑪	運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪雨水利用設備の導入による雨水の有効利用。 ⑫地下躯体部分における高炉セメントの採用。 ⑬不活性ガス(CO2)消火設備の導入。	LR-2	1	1.1		⑪	節水		1.2	1.2.1		⑫	雨水利用システム導入の有無	
											1.2.2	⑬	雑排水等利用システム導入の有無	
									2	2.1		⑭	材料使用量の削減	
											2.2	⑮	既存建築躯体等の継続使用	
											2.3	⑯	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
											2.4	⑰	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
											2.5	⑱	持続可能な森林から産出された木材	
											2.6	⑲	部材の再利用可能性向上への取組	
									3	3.1		⑳	有害物質を含まない材料の使用	
											3.2	3.2.1	㉑	消火剤
											3.2.2	㉒	断熱材	
											3.2.3	㉓	冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭省エネルギー対策と、高炉セメントの採用。 ⑮外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮		2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点					3.0							
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯制振装置の採用。	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性					⑰	免震・制振性能	
												⑱	空調・換気設備	
										2.4	2.4.1		⑲	給排水・衛生設備
												2.4.2	⑲	電気設備
											2.4.3	⑲	機械・配管支持方法	
											2.4.4	⑲	通信・情報設備	
											2.4.5	⑲	通信・情報設備	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点					#DIV/0!							
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱バリアフリー法誘導基準相当の計画とした。	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画		3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり	
												⑲	空間の形状・自由さ	
												⑲	空間の形状・自由さ	
												⑲	空間の形状・自由さ	
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑街並みに配慮し、木材等自然素材を活用した外装とした。	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上							
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点					2.7							
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指数50%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するよう外構植栽計画を行った。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出		2			⑲	まちなみ景観への配慮	
												⑲	敷地内温熱環境の向上	
												⑲	敷地内温熱環境の向上	
												⑲	敷地内温熱環境の向上	
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) ⑫静岡県産材の使用比率が0%。 ⑮外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。	LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	